



2025広報委員会新聞

Haru-Mind

No.3 2025.10.25

晴海祭～Starry Sea～

来場者6000人超え！？

9月20,21日に晴海祭が行われました。30周年という記念すべき年、来場者が

なんと6000人を超えました！30期生が新たに加わり、さらにパワーアップした晴海祭をたくさんの方に参加いただけてとてもうれしいです。

晴海祭の企画は今年も個性派揃い！

クラス劇から授業発表まで、本当にたくさんの企画がありました。



1年生のクラス企画は劇と決まっています。内容は完全オリジナルからパロディまでさまざま…衣装や装飾にもたくさんのこだわりが見られました。

2年生のクラス企画に縛りはありませんが、実は食品を出せるのは7クラス中2クラスのみ。激戦区を勝ち抜いた食品団体、定番のお化け屋敷から体験型のアトラクションまでさまざまな企画がありました。

3年生は有志団体のみです。こだわり抜かれた衣装や舞台を使つてのパフォーマンスなど、3年生の余裕と貫禄を感じる企画ばかりでした。

その他の企画では、普段見ることのできない部活や授業の発表がありました。企画名もおもしろいものがたくさんありましたね。



文化祭といえば校内の装飾も楽しみのひとつ。装飾もすべて生徒が一から作っています。正面玄関の飾りや窓のステンドグラスは美術工芸部が作ってくれました。さすがのクオリティですね！

エントランス付近の階段の装飾担当は晴海祭実行委員の装飾班です。装飾班チーフにお話を伺ったところ、「がちみんなでがんばった」とのことでした。がちみんなでがんばってくれたようです。

クラスや部活動もクオリティの高い装飾が勢揃いでした。

来年も楽しみです！



今回来場された方もそうでない方も、晴海祭の雰囲気を感じ取っていただけたら嬉しいです。最後まで読んでいただきありがとうございます！



生徒だけの特別イベント「後夜祭」

今年、コロナ以降初めて、後夜祭復活しました。歌やラップ、ダンスなど、次々とパフォーマンスが繰り広げられました。

照明が落ちた体育館に響く歌声、ステージを駆け抜けるダンスのリズム、客席からの大歓声——そのすべてが「青春」という言葉にぴったり。みんなで作り上げた2日間の文化祭を、みんなで盛り上げて締めくくる。まさに最高のフィナーレでした。

晴海祭実行委員長に きいてみた！

晴海祭を取りまとめ、大成功に導いた晴海祭実行委員の委員長に独占インタビューをおこないました！

Q: “Starry Sea”に込められた意味はなんですか？

A: 今年のテーマである“Starry Sea”は直訳すると「星降る夜」になります。これは「星」を晴海生の個性、「海」を晴海祭に例え、晴海祭でみんなの個性が輝いてほしいという実行委員の思いが込められています。

Q: ズバリ、晴海祭の魅力は？

A: 晴海祭ならではの授業発表や、教室の多さを利用した企画の多さだと思います。さまざまな企画を通して、普段話することがなかった人や来場された方との交流を楽しめることも魅力のひとつです。

Q: 来場された方々に一言おねがいします

A: 晴海祭はいかがでしたか？今年度の晴海祭は終わってしまいましたが、私はこれからも晴海が個性の輝く場所であってほしいと願っています。この想いも引き継がれて晴海祭は続きます！

ありがとうございました！

